

# アーティスト・イン・レジデンス活動を通じた国際文化交流促進事業

文化庁

【平成30年度予算：99百万円（110百万円）】

概要

アーティスト・イン・レジデンス（AIR）とは、国内外の芸術家を招へいし、地域で芸術活動を行うものです。文化庁は、そうした活動を支援し、地域における国際文化交流を推進します。

## 平成29年度の採択団体

採択団体名	活動拠点	採択団体名	活動拠点
特定非営利活動法人 S - A I R	北海道 札幌市	特定非営利活動法人 アーツイニシアティヴトウキョウ [A I T / エイト]	東京都 渋谷区
公立大学法人 青森公立大学	青森県 青森市	有限会社 遊工房	東京都 杉並区
なつかしい未来創造株式会社	岩手県 陸前高田市	認定特定非営利活動法人 黄金町エリアマネジメントセンター	神奈川県 横浜市
アークプロジェクト実行委員会	茨城県 水戸市	公益財団法人 滋賀県陶芸の森	滋賀県 甲賀市
一般社団法人 P A I R	千葉県 松戸市	公益財団法人 京都市芸術文化協会	京都府 京都市
一般社団法人 Ongoing	東京都 武蔵野市	特定非営利活動法人 ジャパン・コンテンツパラダイクス・ネットワーク (J C D N)	京都府 京都市
一般社団法人 産業人文学研究所	東京都 千代田区	公益財団法人 山口きらめき財団 秋吉台国際芸術村	山口県 美祿市
一般社団法人 非営利芸術活動団体コマンドN	東京都 千代田区	一般社団法人 阿波和紙伝統産業会館	徳島県 吉野川市
公益財団法人 セゾン文化財団	東京都 中央区	特定非営利活動法人 B E P P U P R O J E C T	大分県 別府市

## 国内のアーティスト・イン・レジデンス団体に対する支援

- ・国内外のアーティストが一定期間、地域に滞在して行う創作活動を支援
- ・これに関連するアウトリーチ活動（作品発表、セミナー、ワークショップ等）を支援

## 支援対象となる団体

### 1. 拠点的なAIR団体（700万円を上限）

他の団体と連携したり、他のAIR団体への支援を行い、全国の拠点となるような団体を対象。

### 2. 小規模なAIR団体（300万円を上限）

全国津々浦々で、外国人アーティストが創作活動を行えるよう、小規模あるいは新規団体を対象。



<アーティスト・イン・レジデンスでの創作活動>

平成30年度事業内容

○ 芸術家、文化人等を「文化交流使」に指名、「日本の心を世界に伝える」をテーマに交流使が世界各国で自身の専門分野における様々な文化活動を行うことを通じて、日本文化を世界に発信する。

日本の芸術家、文化人が一つもしくは複数の国に一定期間滞在し、日本の文化に関する講演、講習や実演デモンストレーション等を行う。

平成15年度から29年度までに、のべ133名と26団体の文化交流使が、世界81か国で活動を行った。

平成30年度については、周年事業国や在外公館からのニーズ調査を踏まえ、日本文化の発信により効果的な地域を選定し、文化交流使を派遣する方針である。

	氏名	プロフィール		氏名	プロフィール
平成28年度	佐藤 可士和	クリエイティブディレクター、株式会社サムライ代表取締役	平成29年度	大友 良英	音楽家
	佐野 文彦	建築家、美術家		鈴木 康広	メディアアーティスト、武蔵野美術大学准教授、東京大学先端科学技術研究センター客員研究員
	土佐 尚子	アーティスト、京都大学教授		種田 道一	金剛流能楽師
	藤間 蘭黄	日本舞踊家		本條 秀慈郎	三味線演奏家
	柳家 さん喬	落語家		増田 セバスチャン	アートディレクター、アーティスト
	山田 うん	振付家、ダンサー			



パリ日本文化会館での、自身の有田焼とのコラボレーション作品を用いたレクチャー（佐藤可士和氏：フランス）



ボストンラテンアカデミーでの小唄指導（柳家さん喬氏：アメリカ）



国立パフォーミングアーツ&メディア学院でのワークショップ（山田うん氏：アルジェリア）



プラハ芸術アカデミーでのワークショップ（藤間蘭黄氏：チェコ）

## 内容

日中韓文化大臣会合（2012年）での合意に基づき開始され、毎年、日中韓の3か国から選定された都市が連携し、様々な文化芸術事業を集中的に実施

## 目的

- ・東アジアの相互理解と連帯感の促進
- ・東アジアの多様な文化の発信
- ・都市の文化芸術、クリエイティブ産業、観光の継続的な発展



横浜市(2014年)	新潟市(2015年)	奈良市(2016年)	京都市(2017年)
<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 100事業を実施</li> <li>✓ 来場者は約281万人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 295事業を実施</li> <li>✓ 来場者は約357万人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 112事業を実施</li> <li>✓ 来場者は約127万人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 129事業を実施</li> <li>✓ 来場者は約50万人 (主催・共催事業のみ)</li> </ul>

### 東アジア文化都市中韓交流の実施

3か国共同事業と位置づけた交流事業において、中韓への我が国の文化芸術団体等の派遣及び中韓の文化芸術団体等の我が国への招へいを実施。

### 東アジアにおける芸術家等の人的交流・文化協力事業の実施

関連事業として、東アジア諸国との文化交流事業・人的交流を通じた人材の育成・東アジアとの文化協力を促進させる事業を実施。

(事業例) 日中韓学生アニメーション共同制作事業 ASEAN文化交流・協力事業(アニメーション・映画分野)

メディア芸術は広く国民に親しまれ、新たな芸術の創造や我が国の芸術全体の活性化を促すとともに、海外から高く評価され、我が国への理解や関心を高めている。

また、メディア芸術は、我が国の文化振興はもとより、コンテンツ産業、観光、国際文化交流にも資するもの。

メディア芸術の一層の振興のため、「創造・発信支援」と「人材育成支援」を充実

メディア芸術の創造・発信  
863百万円（861百万円）

メディア芸術グローバル展開事業【新規】  
375百万円（0百万円）

メディア芸術祭の開催

・メディア芸術の国際的な総合フェスティバルとして、国内外の優れた作品を顕彰し、受賞作品展を開催

メディア芸術海外展開事業

・海外のメディア芸術関係フェスティバル等において我が国のメディア芸術を戦略的に発信する展示・上映を実施

メディア芸術祭地方展

・地方において優れたメディア芸術作品の鑑賞機会を提供するため、総合的な展示・上映等を行う展覧会を開催

前年度限りの事業

・メディア芸術祭等事業 0百万円（375百万円）

メディア芸術連携促進等事業  
367百万円（367百万円）

・作品の所在情報等（データベース）の運用・活用  
・各研究機関等におけるアーカイブ化に係る取組みへの支援による相互連携  
・連携共同事業等（新領域創出、調査研究等）について、産・学・館（官）の連携・協力による実施

アニメーション映画製作支援  
121百万円（119百万円）

・我が国の優れたアニメーション映画の製作活動に対する支援。（17作品）  
・字幕・音声ガイド制作（バリアフリー映画10作品）  
・外国語字幕制作（1作品）

メディア芸術の人材育成  
240百万円（232百万円）

メディア芸術クリエイター育成支援事業  
30百万円（22百万円）

・若手クリエイターが行うメディア芸術作品の創作活動を支援  
・団体の創作活動に対する支援【新規】

若手アニメーター等人材育成事業  
210百万円（210百万円）

・制作スタッフに若手人材を起用し、制作段階でオン・ザ・ジョブ・トレーニング（OJT）を組み込んだ実際のアニメーション制作現場における人材育成を実施

日本映画の振興のうち  
 海外映画祭出品等支援事業【平成30年度予算：64百万円（67百万円）】  
 若手映画作家等の育成【平成30年度予算：164百万円（157百万円）】  
 ロケーションに係るデータベースの運営【平成30年度予算：16百万円（16百万円）】  
 日本映画製作支援事業【平成30年度予算：613百万円（594百万円）】

多くの人々に支持され親しまれている総合芸術であり、かつ海外への日本文化発信の有効な媒体である日本映画の振興を図る。

## 日本映画の創造・交流・発信

799百万円（789百万円）

### 日本映画製作支援事業【613百万円】

- ・優れた日本映画の製作活動に対する支援
- ・**新進映画監督等による映画製作への支援（新規15百万円）**
- ・字幕制作・音声ガイド制作（バリアフリー映画60作品）
- ・**外国語字幕制作3作品（新規3百万円）**

### ロケーションに係るデータベースの運営【16百万円】

- ・各地フィルムコミッションの持つ情報を集約したデータベースを作成しインターネット上で公開

### 「日本映画情報システム」の整備【6百万円】

- ・日本映画に関する情報を集約したデータベースを作成しインターネット上で公開

### アジアにおける日本映画特集上映事業【77百万円】

- ・アジア諸国において日本映画の特別上映や人材育成につながる交流事業を実施

### 海外映画祭への出品等支援【64百万円】

- ・日本映画の海外映画祭への出品に対する支援

### 全国映画会議【14百万円】

- ・映画界をとりまく課題等に関して関係者が意見交換を行うシンポジウムの実施

### 文化庁映画賞【9百万円】

- ・日本映画界で顕著な業績をあげた者の顕彰
- ・優れた文化記録映画作品の顕彰及び上映会

## 自律的な創造サイクルの確立

### 人材育成

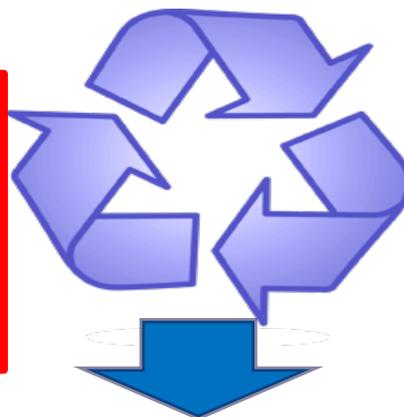
### 若手映画作家等の育成 164百万円（157百万円）

#### 短編映画作品支援による若手映画作家の育成【123百万円】

- ・ワークショップや実際の短編映画作品の制作を通して、若手映画作家等に映画製作に必要な技術・知識の習得機会を提供

#### 映画関係団体等の人材育成事業の支援【41百万円】

- ・映画製作現場における学生の実習（インターンシップ）受入れの支援



### 映画フィルムの保存・継承

### デジタル映像等の保存活用 運営費交付金の内数

映画分野における緊急的活重点的な取り組みに対して支援する。

- ・映画フィルムのデジタル保存・活用等
- ・映画関連資料の保存活用等
- ・新進的な映画や若手クリエイターの作品等の発信等
- ・訪日外国人等に対する映画の多言語字幕上映等

我が国の存在感を高める日本映画の振興と日本文化の理解の促進

# 芸術文化の発信と新たな展開【平成30年度予算：1,016百万円（1,070百万円）】

## 趣旨

舞台芸術や現代アートなど、我が国の優れた芸術文化を積極的に海外に発信するとともに、各分野における国際文化交流を推進することにより、我が国の芸術活動の活性化、芸術水準の向上を図りそのブランド価値を高め、我が国文化をより効果的に発信することで、日本文化の評価が向上し「文化芸術立国」の推進に資する。

## 事業概要

音楽、舞踊、演劇等の舞台芸術や映画、現代アートなど各分野における我が国の優れた芸術文化を世界に発信するため、海外発信力のあるイベントの開催、海外のフェスティバルへの参加・出展、国内における国際的舞台芸術イベントの開催、海外の芸術団体との共同制作などの取組に対し支援を行う。

例)

### 1. 日本文化海外発信推進事業

東京国際映画祭等の海外発信力のあるイベントの開催を支援・実施

〔 映画 1件  
現代アート等 1件 〕

・東京国際映画祭  
・ジャポニズム2018への出展

### 2. 現代アートの海外発信の推進等

現代アートの海外展開に関するシンポジウムの開催及び海外で開催される展覧会への出展支援等

〔 現代アート 20件  
シンポジウム 1回  
調査研究 1式 〕

・ヴェネチアビエンナーレ（イタリア）  
・アートバーゼル（スイス・香港）...etc

### 3. 海外国際フェスティバル参加等支援

海外で開催されるフェスティバルへの参加などを支援

〔 舞台芸術 32公演 〕

・アヴィニョン演劇祭

### 4. 国際共同制作支援

我が国の芸術団体と外国の芸術団体との国際共同制作公演に対して支援

〔 舞台芸術 10公演 〕

### 5. 国内で開催される国際的舞台芸術イベントの支援等

海外から複数の芸術団体が参加し、我が国で開催される国際的な舞台芸術のイベントの支援等

〔 舞台芸術 3公演 〕



## 世界に羽ばたく次世代を担う芸術家の養成



昭和42年度より実施  
平成28年度までに約3,400名が制度を活用  
(平成13年度までは、芸術家在外研修事業により実施)  
【派遣実績】

平成23年度 64名、平成24年度 85名、平成25年度 78名、  
平成26年度 80名、平成27年度 83名、平成28年度 73名



我が国の将来の文化芸術の振興を担う人材を育成するため、美術、音楽、舞踊、演劇、映画、舞台美術等、メディア芸術の各分野の若手芸術家等に、海外で実践的な研修に従事する機会を提供する。

【研修期間】 1年（350日～200日、高校生研修含む）  
2年（700日）、3年（1050日）  
特別（80日）  
短期（20～40日）の5種類

【支給対象】 往復航空運賃・支度料・滞在費（日当・宿泊料）

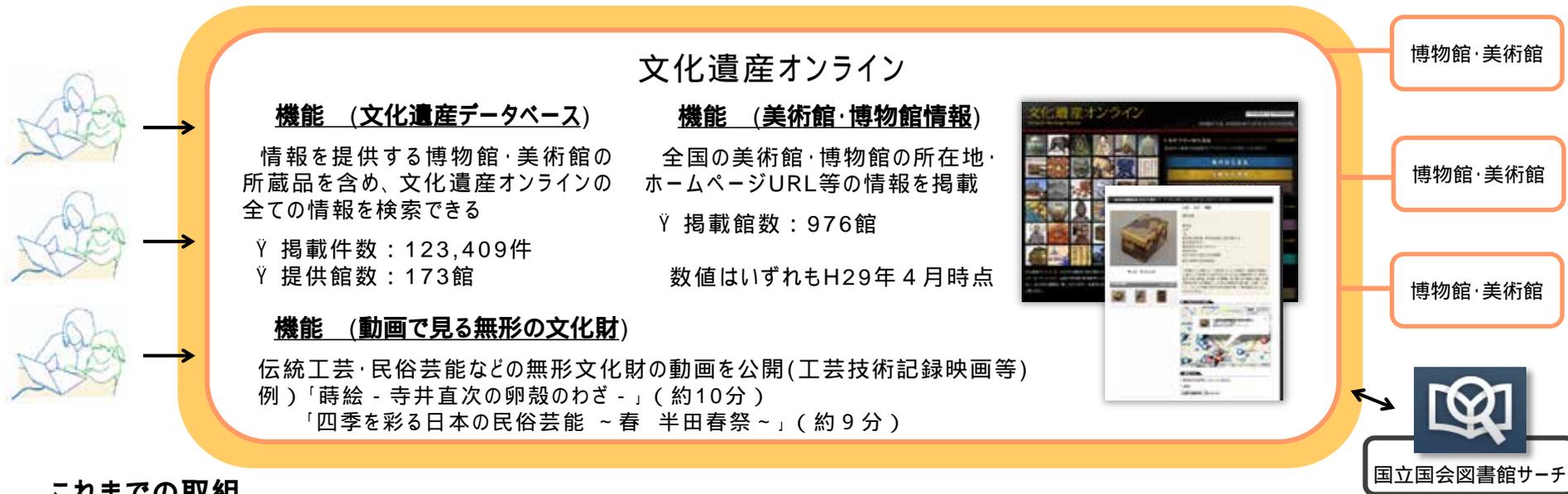
## &lt;これまでの主な派遣者&gt;

奥谷 博	（美術：洋画	昭和42年度）
絹谷幸二	（美術：洋画	昭和52年度）
佐藤しのぶ	（音楽：声楽	昭和59年度）
諏訪内晶子	（音楽：器楽	平成6年度）
森下洋子	（舞踊：バレエ	昭和50年度）
野田秀樹	（演劇：演出	平成4年度）
野村萬斎	（演劇：狂言師	平成6年度）
崔 洋一	（映画：監督	平成8年度）
鴻上尚史	（演劇：演出	平成9年度）
平山素子	（舞踊：タダン	平成13年度）
酒井健治	（音楽：作曲	平成16年度）
長塚圭史	（演劇：演出	平成20年度）
萩原麻未	（音楽：ピアノ	平成21年度）

# 文化遺産オンライン構想の推進【平成30年度予算：50百万円（61百万円）】

## 概要

- Y 我が国の多様な文化遺産に関する情報を、誰もがいつでも容易にアクセスできる環境を整備し、文化の保存・継承・発展を図り、コンテンツの利活用や情報発信を進めるため、文化遺産のデジタルアーカイブ化を推進
- Y このため、全国の博物館・美術館等におけるデジタルアーカイブ化を促進するとともに、それらの情報を束ね、求める情報を容易に検索できる機能を持った拠点となるポータルサイト「文化遺産オンライン」を構築（主に以下の情報を収集）
  - 全国の博物館・美術館等の所蔵品（国宝・重要文化財を含む）
  - 国指定文化財（建造物、史跡名勝天然記念物、無形文化財、民俗文化財等）



## これまでの取組

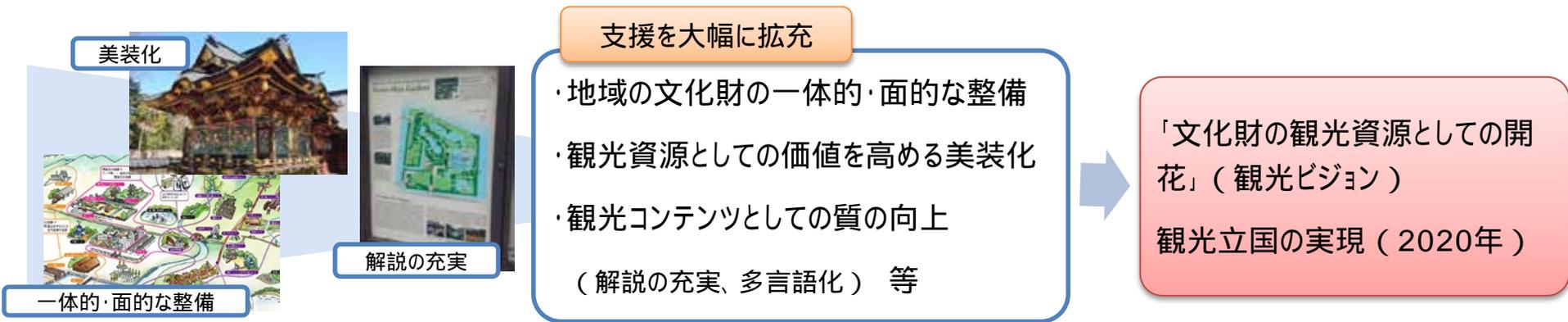
- Y 利用者の利便性の向上、掲載情報の増加、国立国会図書館サーチとのメタデータの一部連携を開始（H29年3月より）

## 今後の取組



加えて「ジャパン・サーチ（仮称）」の実現に向け、国立国会図書館との連携を推進（API連携を目指す）

目前に迫る2020年の観光立国の実現に向けて、「文化財活用・理解促進戦略プログラム2020」に基づく9事業を実施。



## 文化財の総合的な活用による観光振興のための9の事業

### 1. 文化財を活用した歴史体感プロジェクト

#### 歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業

解説板、案内板等の作成、ガイダンス施設の設置等の来訪者目線での修復・復元や、観光客の利便性を高め長時間滞在を可能とする施設・設備の整備を支援。

### 2. 地域の美術館・博物館を中核とした文化クラスター形成事業(新規)

地域の美術館・博物館が中心となって文化クラスター（文化集積地区）を形成し、文化財等の資源と地域の創造的活動を結びつけ、新たな付加価値を生み出す事業を支援。

### 3. 観光拠点形成重点支援事業

歴史文化基本構想策定地域の面的な整備や、他省庁とも連携して他の地域のモデルとなる優良な観光拠点の整備を支援。

### 4. 日本遺産魅力発信推進事業

我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産」として認定するとともに、認定地域の文化財群を総合的に整備・活用し、国内外に戦略的に発信する取組を支援。

### 5. 文化遺産総合活用推進事業

伝統行事・伝統芸能の公開、後継者養成等、地域の文化遺産を活用した特色ある取組や、「地域の文化財の総合的な保存活用に係る基本計画（仮称）」等の策定を支援。

### 6. 日本の美再発見！文化財美術工芸品魅力開花推進事業(新規)

国宝・重要文化財（美術工芸品）の外観を健全で美しい状態に回復し、観光資源としての魅力を向上させる事業（美装化）を支援。

### 7. 美しい日本探訪のための文化財建造物魅力向上促進事業

重要文化財（建造物）及び登録有形文化財（建造物）の外観、内装（公開部分）を美しく保ち、観光資源としての魅力を向上させる事業（美装化）を支援。

### 8. 地域活性化のための特色ある文化財調査・活用事業(新規)

まとまって一箇所に伝存する絵画、彫刻、工芸品、古文書等を歴史資料群として価値づけを行い、保存・活用（地元博物館での企画展示やWEBによる公開等）に供する。

### 9. 地域の特色ある埋蔵文化財活用事業

出土した埋蔵文化財の積極的・総合的な公開活用のための展示、講演会等の事業や、調査・整理・公開拠点となる施設の設備整備等について支援。

## 経済財政運営と改革の基本方針2017（平成29年6月9日閣議決定）

・「文化プログラムやジャポニスム2018等の機会を捉えた魅力ある日本文化の発信を進める」

## 事業概要

### 目的・要旨

昭和26年から開始。文化庁と、国内の複数の美術館・博物館との連携の下、国宝・重要文化財をはじめとする我が国の質の高い文化財を海外で企画・展示し、歴史的・学術的な魅力も含め紹介することを目的とする。

また、展覧会を通じて、我が国の学芸員の国際発進力の向上と共に、昨今減少傾向にある諸外国の日本美術研究者との研究成果発表の機会として資するようなものを対象とする。

### 事業内容・計画

日本古美術海外展（30年度対応）

我が国の優れた文化財を諸外国に紹介することにより、我が国の歴史と文化に対する理解の増進に寄与し、海外における日本美術研究を推進すること等を目的として、日本古美術海外展を開催する。

文化財の海外交流の推進（31年度以降の対応）

平成31年度以降に開催予定の展覧会（米国・サンフランシスコ・アジア美術館「人間国宝展」）に係る在外関係機関との調整等を行う。



「日本仏像展」（平成28年度）  
イタリア大統領の視察



「日本仏像展」（平成28年度）  
イタリア外務大臣の視察

### 平成29年度に開催の日本古美術海外展概要

イタリア・フィレンツェ「花鳥風月 - 屏風・襖にみる日本の自然 - 」

会期：10月3日～2018年1月7日 会場：ウフィツィ美術館

タイ・バンコク「日本美術のあゆみ 信仰とくらしの造形」

会期：12月27日～2018年2月18日 会場：バンコク国立博物館

### 平成30年度に開催予定の日本古美術海外展概要

ウェールズ・カーディフ「今・昔 日本のアート&デザイン展」

会期：6月～9月 会場：ウェールズ国立博物館

作品：江戸図屏風、重文「色絵若松図茶壺」など約100点

備考：明治150年記念、ウェールズ国内で初の文化庁海外展

スイス・チューリッヒ「長澤蘆（ろ）雪（せつ） 18世紀日本のアヴァンギャルド展（仮称）」

会期：9月～11月 会場：リートベルク美術館

作品：重文・紙本墨画「虎図」など約100点

備考：海外で長澤蘆雪が大々的に紹介される初めての展覧会

ロシア・モスクワ「江戸絵画展（仮称）」

会期：9月～11月 会場：プーシキン美術館

作品：重文「風神雷神図屏風」、国宝「納涼図屏風」など約100点

備考：ロシアにおける日本年事業

ロシア国内で初の文化庁海外展

フランス・パリ「縄文展（仮称）」

会期：10月～12月 会場：日本文化会館

作品：国宝「土偶」、国宝「深鉢形土器」など約50点

備考：ジャポニスム2018事業（国際交流基金との連携）



重文 色絵若松津茶壺



重文 風神雷神図屏風